



## 平成27年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年6月9日

上場取引所 東名

上場会社名 サーラ住宅株式会社  
コード番号 1405 URL <http://www.sala-house.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 信仁  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 松尾 享史

TEL 0532-32-7272

四半期報告書提出予定日 平成27年6月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年10月期第2四半期の連結業績(平成26年11月1日～平成27年4月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年10月期第2四半期	13,805	△17.7	64	△90.9	82	△88.7	26	△93.4
26年10月期第2四半期	16,778	3.0	709	6.8	731	5.7	401	△1.7

(注) 包括利益 27年10月期第2四半期 48百万円 (△88.6%) 26年10月期第2四半期 425百万円 (△2.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年10月期第2四半期	5.20	—
26年10月期第2四半期	78.75	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年10月期第2四半期	24,456	7,146	28.2
26年10月期	22,554	7,365	31.5

(参考) 自己資本 27年10月期第2四半期 6,907百万円 26年10月期 7,107百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年10月期	—	15.00	—	20.00	35.00
27年10月期	—	10.00	—	—	—
27年10月期(予想)	—	—	—	15.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 平成27年10月期の連結業績予想(平成26年11月1日～平成27年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,700	△7.9	570	△47.5	600	△46.8	360	△44.7	70.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 2「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年10月期2Q	5,184,000 株	26年10月期	5,184,000 株
27年10月期2Q	86,035 株	26年10月期	86,035 株
27年10月期2Q	5,097,965 株	26年10月期2Q	5,097,965 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安・株高傾向の進行等により、企業収益は改善の動きがみられるほか、雇用・所得環境の回復により、個人消費が底堅い動きとなっている等、景気は緩やかな回復基調が続いてまいりました。

住宅業界におきましては、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減の長期化等により、受注環境は好転のきっかけがつかめない状況が続きました。しかしながら、雇用・所得環境の改善傾向が続いたことや、住宅取得促進の諸施策が講じられたこと、また、省エネ住宅ポイント制度の申請受付も始まっており、持家、分譲住宅の着工増加が期待されるようになっております。

このような状況の下、当社グループは住まいづくりに関する総合的なサービスを展開し、人と住まいと環境における最高のクオリティの実現を目指すとともに、当社グループ4社が有する技術・商材・サービス・顧客基盤等のリソースを相互に活用し、シナジー効果の最大化に努めてまいりました。

住宅事業におきましては、コア技術である「外断熱・二重通気工法」を中心とし、太陽光発電システムや乾燥無垢ひのき等、環境に配慮し付加価値を高めるアイテムを武器に、性能訴求を柱とした販売を促進してまいりました。また、更なる健康・快適性を追求し、全館調湿換気、高性能ハイブリッド窓、乾燥無垢ひのきを標準採用した新商品「Best-Air (ベストエア)」を開発いたしました。分譲面では、太陽光発電システムを標準装備したほか、長期優良住宅認定を受けた高水準な基本性能に加え、独自のこだわりも取り入れた高付加価値で魅力的な分譲住宅の提供、販売強化に取り組んでまいりました。

住宅部資材加工・販売事業におきましては、継続的な新規顧客開拓による販売先の拡大や既存顧客への増量販売等、販売強化に努めるとともに、集中購買による仕入れコストの削減に取り組み、収益性の向上に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は13,805百万円(前年同四半期比17.7%減)、営業利益は64百万円(前年同四半期比90.9%減)、経常利益は82百万円(前年同四半期比88.7%減)、四半期純利益は26百万円(前年同四半期比93.4%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は24,456百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,901百万円増加いたしました。これは主として、販売用不動産の増加によるものであります。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は17,309百万円となり、前連結会計年度末と比較して2,120百万円増加いたしました。これは主として、短期借入金及び長期借入金の増加によるものであります。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は7,146百万円となり、前連結会計年度末と比較して218百万円減少いたしました。これは主として、利益剰余金の減少によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年12月9日付「平成26年10月期 決算短信」で公表いたしました平成27年10月期の業績予想及び配当予想を修正しております。詳細につきましては、本日(平成27年6月9日)公表いたしました「平成27年10月期第2四半期累計期間連結業績予想数値と実績値との差異並びに通期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法については、期間定額基準を継続適用し、割引率の決定方法を、退職給付の見込支払日までの平均期間に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が196,653千円増加し、利益剰余金が129,876千円減少しております。また、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(法人税率の変更等による影響)

「所得税法等の一部を改正する法律」(平成27年法律第9号)及び「地方税法等の一部を改正する法律」(平成27年法律第2号)が平成27年3月31日に公布され、平成27年4月1日以降に開始する連結会計年度から法人税率等の引下げ等が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の34.7%から平成27年11月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については32.4%に、平成28年11月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異については、31.7%となります。

なお、この税率変更による影響は軽微であります

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年4月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	3,434,758	3,558,514
受取手形及び売掛金	2,738,832	2,788,418
未成工事支出金	575,921	561,996
販売用不動産	5,127,799	7,036,811
仕掛販売用不動産	5,085,494	4,952,975
商品及び製品	548,319	567,222
原材料及び貯蔵品	2,778	2,817
繰延税金資産	252,034	268,641
その他	247,733	101,837
貸倒引当金	△63,049	△59,375
流動資産合計	17,950,623	19,779,859
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	773,495	739,581
土地	2,896,590	2,896,590
その他(純額)	85,516	81,900
有形固定資産合計	3,755,602	3,718,071
無形固定資産	50,105	98,567
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	382,584	382,503
繰延税金資産	363,808	438,525
その他	231,096	187,993
貸倒引当金	△179,403	△149,348
投資その他の資産合計	798,086	859,673
固定資産合計	4,603,794	4,676,313
資産合計	22,554,417	24,456,172

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年4月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,979,289	5,579,783
短期借入金	5,500,000	6,500,000
1年内返済予定の長期借入金	66,600	691,924
未払法人税等	254,700	92,248
未成工事受入金	869,281	815,376
賞与引当金	269,251	122,742
完成工事補償引当金	30,788	28,569
資産除去債務	—	2,335
その他	772,189	643,842
流動負債合計	13,742,100	14,476,821
固定負債		
長期借入金	39,050	1,380,426
役員退職慰労引当金	214,343	111,531
退職給付に係る負債	1,142,627	1,294,610
資産除去債務	25,791	23,481
負ののれん	54	—
その他	25,342	22,941
固定負債合計	1,447,210	2,832,991
負債合計	15,189,310	17,309,813
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,018,590	1,018,590
資本剰余金	1,192,390	1,192,390
利益剰余金	4,778,186	4,572,838
自己株式	△26,764	△26,764
株主資本合計	6,962,402	6,757,054
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	155,871	161,129
退職給付に係る調整累計額	△10,913	△10,291
その他の包括利益累計額合計	144,958	150,837
少数株主持分	257,746	238,467
純資産合計	7,365,107	7,146,359
負債純資産合計	22,554,417	24,456,172

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年11月1日 至平成27年4月30日)
売上高	16,778,984	13,805,458
売上原価	13,548,353	11,298,130
売上総利益	3,230,631	2,507,328
販売費及び一般管理費	2,520,717	2,442,509
営業利益	709,913	64,818
営業外収益		
受取利息	701	550
受取配当金	3,020	3,624
仕入割引	10,365	8,524
受取手数料	7,865	9,257
負ののれん償却額	285	54
貸倒引当金戻入額	1,946	2,464
その他	10,562	8,526
営業外収益合計	34,746	33,002
営業外費用		
支払利息	10,776	11,913
その他	1,983	2,945
営業外費用合計	12,760	14,859
経常利益	731,899	82,961
特別利益		
負ののれん発生益	—	10,021
特別利益合計	—	10,021
特別損失		
固定資産除却損	378	108
特別損失合計	378	108
税金等調整前四半期純利益	731,521	92,874
法人税等	303,245	50,816
少数株主損益調整前四半期純利益	428,276	42,057
少数株主利益	26,835	15,570
四半期純利益	401,440	26,487



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年11月1日 至平成27年4月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	428,276	42,057
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,139	5,917
退職給付に係る調整額	—	618
その他の包括利益合計	△3,139	6,536
四半期包括利益	425,136	48,593
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	398,120	32,367
少数株主に係る四半期包括利益	27,016	16,226

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。